GIGA スクール構想と情報モラルに関する Q&A

Q1
アカウントとは？

Answer

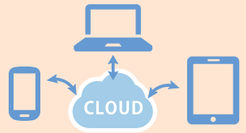
アカウントとは、個人の名前や学年、出席番号などにひもづいた固有のＩＤやパスワードのことです。個々に応じたクラウドサービスの利用による学習が可能となります。

アカウントは、個人で管理し、他人との共有は絶対にしないでください。

Q2
クラウドサービスの利用とは？

Answer

端末ではなく、インターネットのクラウド上にデータを残すことができます。万が一、故障等で端末が使えなくても、他の端末でログインして学習を続けることができます。



Q3
保護者は何をすればいいか知りたい

Answer 「青少年インターネット環境整備法」には、以下のような保護者の責務について規定されています。

- フィルタリング等の利用により、子どものインターネットの利用を適切に管理する
- 子どものインターネット利用状況を適切に把握する
- 子どもがインターネットを適切に活用する能力の推進に努める
- 不適切な利用により、売春、犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに留意する

Q4
さらにインターネットから子どもを守る方法を知りたい

Answer 以下の資料を参考にしてください。

《横浜市教育委員会人権教育・児童生徒課 / 平成 31 年 3 月発行》
子どもの「心」を育んでこそ 安心・安全なスマホ・SNS 利用

具体的な場面において、どのように子どもの心を育んでいくか、家庭でのルール作り等が分かるリーフレットになっています。ぜひご活用ください。

《文部科学省》
情報モラルに関する指導の充実に資する〈児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き〉・〈保護者向けの動画教材・スライド資料〉

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm

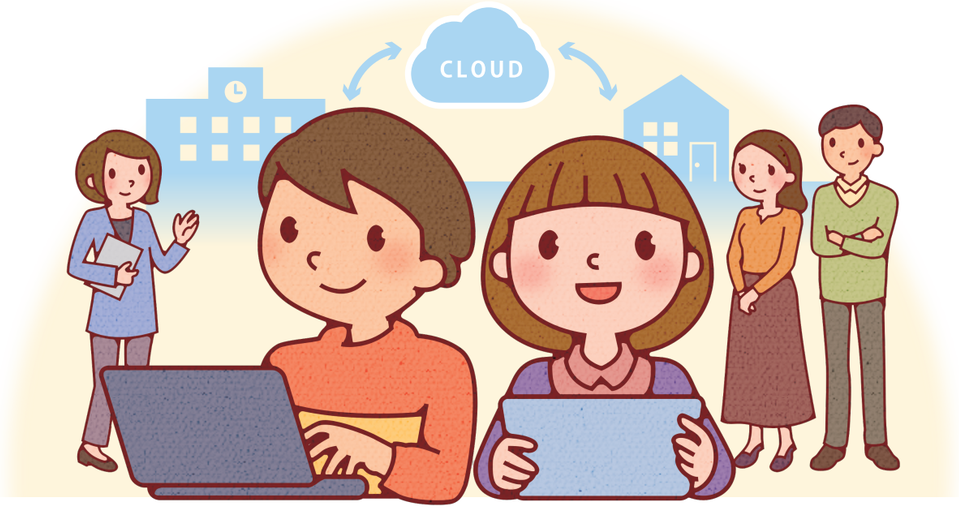
《日本データ通信協会》
インターネットやメールのトラブル別の、関連省庁・団体・機関や民間企業についての相談先

https://www.dekyo.or.jp/soudan/contents/info/inquiry.html

制作：横浜市教育委員会事務局
発行：小中学校企画課　情報教育担当
横浜市中区本町 6-50-10
TEL：045（314）1316　FAX：045（314）1318
令和２年 12 月発行

保存版
保護者向けリーフレット

学校と家庭で育む 情報モラル



GIGA スクール構想で、さらに活用が進むインターネットを利用した学びは、学校以外の場所や家庭でも行うことができます。

インターネットを活用する機会が増える中、子どもたちの安全で安心な「新しい学び」を保障する上で、「情報モラル」は、今後さらに大切になります。このリーフレットを活用し、学校と家庭が連携して「情報モラル」を育むことが重要です。

GIGAスクール構想で目指す 新しい学び

令和３年度から、子どもたち一人ひとりに配付された「アカウント」で、それぞれの端末からログインをして、「クラウドサービス」を使った学習が始まります。「コンピュータ」が、文房具の一つとなり、子どもたちの学びを支えます。

新しい学びの環境で、コンピュータやインターネット等を活用し、子どもたちは、さらに主体的、対話的で深い学びが可能となり、社会を生き抜く力を身に付けていきます。

情報モラル教育の重要性

一方で、インターネットはよい面だけではなく、危険もあります。使い方次第で「加害者」にも「被害者」にもなります。

そこで、学校の指導だけでなく、家庭と一緒に子どもたちに「情報モラル」を育んでいくことが求められます。

Check!

家庭でお子さんと一緒に確認してほしいこと

- 家庭と学校が連携して**情報モラルを育む**こと
- インターネットは、使い方次第で**加害者にも被害者にもなる**こと
- 心配なことや気になることがあった場合、家族や先生などに**必ず相談してほしい**こと

中面をご覧ください。